第452号
令和2年
10月26日

# すまいるたうん

発行元
東京新聞
南千住東口専売店
℡5850-3699
発行責任者
鬼塚　佳代子
℡090-2657-0300

## 何かが発見できる　まちの図書館　なにかし堂

**「まちの図書館ができました。」**

この夏、ジョイフル三ノ輪商店街（荒川一中寄り）に街の図書館として「なにかし堂」がオープン致しました。絵本から小説、ビジネス書まで二千冊以上揃っています。貸出は無料です。身分証明書の必要はありません。読書、団欒スペースもあり、飲食もできます。

なにかし堂は、「なにかしたい」「何か始動」「何か指導」の意味を持って名付けられました。現役教員や学校関係者、大学生などがボランティアで協力し合って運営しています。

店主の野口貴裕さん（平成六年生まれ）は学生時代に国際協力としてアフリカのルワンダでプログラミングを教え、その後地域創生企業など様々な教育現場でキャリアを積み静岡県牧之原市に移住し、町づくりや小中学校への出張授業など地域の公教育に民間企業として携わってきました。

**「月1寺子屋をやっています。」**

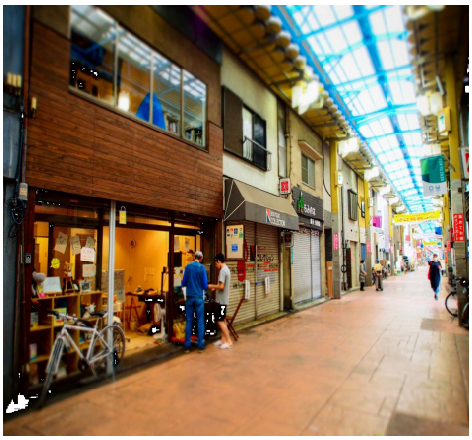
主に教職を目指す大学生が講師となり小中高生を対象に本人のペースに合わせた個別指導を行っています。ボランティアですので無料です。詳細お問い合わせは下記メール迄（実施日　十一月十五日、十二月六日）

**「子どもや大人、誰でも使える室内の公園に自由な拠り所を」**

地域活性化の成功法則として、良く語られる「よそ者、若者、ばか者」論があります。この三者に共通するのは「こういう場合は、こうするべき」という固定概念がなく、客観的に物事を考えられることです。なにかし堂は多世代の交流の場所を作り、地域や人を活性化したいと商店街の会合にも参加し、新風を吹き込んでいます。

室内には電子ピアノがあり、漫画からビジネス書まで本棚に並んでありました。噂に聞いて目にしたことのなかったドローンも展示されていました。子どもや大人が三々五々自由に出入りしていました。

ここは、買い物帰りにちょっと立ち寄ってソファに座って本を探して会話ができる空間です。子どもの声を聞いて元気を貰える室内の公園で図書館にぶらりと立ち寄ってみませんか。



なにかし堂
住所：荒川区南千住1-25-11
「ジョイフル三ノ輪商店街　荒川一中寄り
営業時間平日：13:00～19:00
土日：11:00～21:00
メール：info@nanikashido.org